

# 安全・環境レポート 2020

対象期間：2019年4月～2020年3月



# もくじ

---

## 安全・環境マネジメント

- 3 会社概要・マネジメントシステム体制
- 4 CSR方針
- 5 マテリアルフロー
- 6 各種データ
- 7 環境法令の順守状況

## 安全衛生活動トピックス

- 9 健康経営宣言・緊急訓練
- 10 新型コロナウイルス対策

## 環境保全活動トピックス

- 11 SDGsの取り組み
- 13 環境改善活動
- 14 地域社会とのかかわり
- 15 教育支援活動

---

### 編集方針

- ・対象期間 2019年4月～2020年3月（2019年度）
- ・参照したガイドライン 環境省 環境報告書の記載事項等の手引き（第3版）2014年5月
- ・発行年月 2020年11月（次回発行予定 2021年11月）

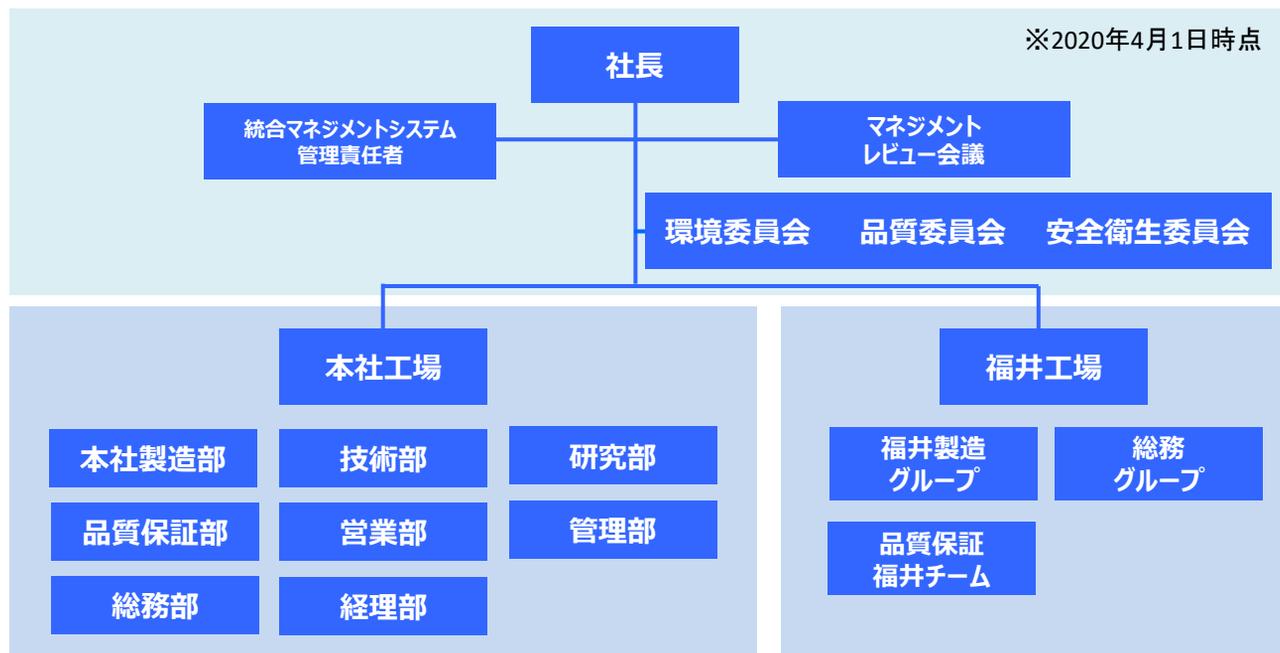
表紙写真：本社工場（空撮）

## 会社概要

会社名	小西化学工業株式会社
本社所在地	〒641-0007 和歌山県和歌山市小雑賀3丁目4番77号 TEL：073-425-0331（代）
福井工場所在地	〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2丁目8-2 TEL：0776-43-0331（代）
創立	1962年（昭和37年9月）
売上	53億円（2020年3月期）
代表者	代表取締役社長 小西 弘矩
従業員数	128名（2020年3月末時点）
事業内容	情報電子材料、機能性樹脂、感熱紙用顕色剤、ポリマー改質剤、エポキシ樹脂硬化剤、ケイ素系有機・無機ハイブリット材料等、機能性化学品の開発・製造・販売及び受託製造

## 環境マネジメントシステム体制

本社では2002年5月に、福井では2014年11月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。また、CSR方針を2011年に制定し、環境への負荷に配慮し省資源、省エネルギー活動を推進しています。



# CSR方針

---

小西化学は事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献し、同時に会社を永続させるため、CSR活動を実施してまいります。

1

事業活動において適用される国内外の法令及びその他の要求事項を順守してまいります。

2

無事故、無災害の継続とリスクマネジメントにより地域社会と社員の安全を確保します。

3

製品の開発、生産、廃棄にいたるライフサイクルの全てのステージにおいて環境への負荷に配慮し、汚染、漏洩、流出の防止に努めるとともに、化学物質の適正管理を行います。

4

製品安全を進め、品質管理の徹底と管理レベルの向上により、お客様から信頼され、愛される製品を作ります。

5

省資源・省エネルギー活動を積極的に推進し、CO<sub>2</sub>の排出削減、地球温暖化の防止に努めます。

6

社員の多様性・人権を尊重し、生き生きと働きやすい環境の確保に努めるとともに、業務を通じ自己実現を援助します。また、児童労働や強制労働を排除します。

# マテリアルフロー

本社工場・福井工場を対象に、事業活動におけるINPUT（エネルギー、水資源、原材料）、OUTPUT（大気排出、排水、廃棄物、製品）のデータを集計し把握しています。

【2019年度環境負荷全体像：本社・福井工場合算】

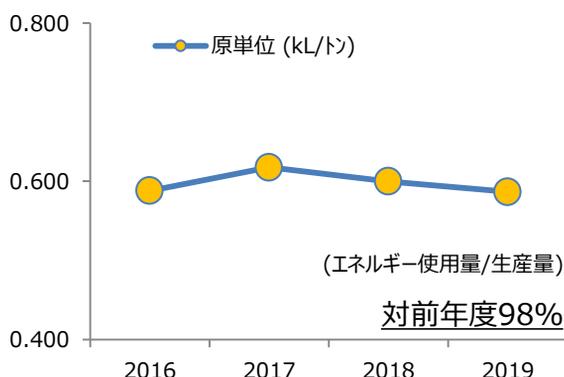


## ■各種データ（2016年度～2019年度）



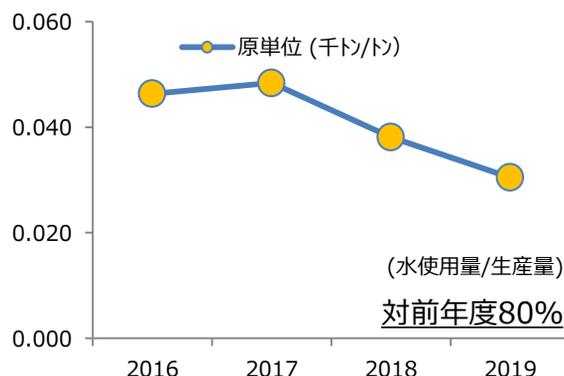
### 生産量・エネルギー使用量

18年度と比較し、生産量・エネルギー使用量共に増加しましたが、原単位としては18年度より2%を改善しました。



### 水資源使用量

本社工場における水資源使用量抑制、品種切替の効率化などにより水使用量・原単位が大きく改善されました。



### 廃棄物量

18年度と比較し、生産量は増加しましたが、一部廃棄物のリサイクル等の効果もあり廃棄物量は減少。原単位としても4%改善されました。



## 環境関連法令順守への取り組み

小西化学では、環境影響に配慮することが企業の重要な責務であると考え、各規制値に対し監視・測定を実施するとともに半期に一度順守評価を行い、環境関連法令の順守に努めています。

### 大気汚染防止

法規制に基づき蒸気ボイラー・熱媒ボイラーから排出されるばい煙の監視・測定を行い、排出基準値内であることを監視しています。

### 水質汚染防止

定期的に工場集合排水をサンプリングし、COD・BODを測定し、排出基準値内であることを監視しています。

### 騒音振動防止

本社工場では毎月、工場内の10地点を騒音計を用いて測定し、継続的にモニタリングしています。また、本社工場、福井工場共に年2回、敷地境界線付近で外部分析機関による騒音測定を行っています。

### 悪臭防止

悪臭防止に関する法令順守のため、適切な対策と継続的モニタリングを実施しています。定期的に工場内及び近隣区域をパトロールし、臭気が無いか確認しています。

項目	測定調査項目	調査範囲	調査点	調査頻度	事業所	測定者
大気	ばい煙測定	蒸気ボイラー・ 熱媒ボイラー	2地点	毎年2回	本社工場	外部機関
			6地点	毎年2回	福井工場	外部機関
水質	COD・BOD	工場内集合排水	1地点	毎月2回	本社工場	外部機関
				毎月1回	福井工場	外部機関
騒音	工場内騒音	工場内	10地点	毎月	本社工場	自社測定
		敷地境界線付近	4地点	毎年2回	本社工場	外部機関
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回	福井工場	外部機関
悪臭	臭気	工場内及び近隣区域	8地点	毎日2回	本社工場	自社測定
		排ガス除害設備	1地点	毎年4回	福井工場	外部機関
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回		外部機関

## 廃棄物管理

電子マニフェスト※を導入し確実な管理を行っています。  
又、定期的に廃棄物処理業者の処理施設を訪問し、法令の順守状況などを確認しています。



## ワンポイントレッスン

マニフェスト制度とは、廃棄物の排出事業者が収集運搬業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止など適正な処理を確保することを目的とした制度です。マニフェストを使用しないと罰則の対象となります。

電子マニフェストは、マニフェスト情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センター（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を介したネットワークでやり取りする仕組みです。

この排出、収集、処分の3者が常にマニフェスト情報を閲覧・監視することにより、不適切なマニフェストの登録・報告を防止、法令の順守につながります。

## 化学物質管理

PRTR法に基づき、指定された物質の排出量、移動量の届出を行っています。

## 定期訓練

環境上の事故が発生した際の被害を最小限に抑えるため、対応手順を定め定期的に訓練を行っています。

### ■ 緊急時硫酸スクラバー運転訓練

発煙硫酸関連設備に不具合が生じ、発煙硫酸ガスが発生した場合に発生したガスを速やかに吸引、硫酸スクラバーにて処理する訓練



## 健康経営宣言

小西化学では、2017年8月「健康経営 優良法人2017」に認定され、社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援する小西化学工業株式会社「健康経営宣言」を発表しました。社員の健康に対して様々な活動に取り組んでおり、2019年も認定をいただきました。

### 小西化学工業株式会社『健康経営』宣言

小西化学工業株式会社は、社員の健康を重要な経営資源の一つと位置づけ、社員が健康で個々の能力や個性を発揮することにより、キラリと光る明るく元気な活力溢れる会社にしていきたいと考えます。

よってここに社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援することを通じ、『健康経営』への取り組みを宣言します。

社員の皆さんも、健康がご自身のみならず、ご家族や会社の基盤であることを理解し、自らの健康を管理し増進に取り組むことで、健康経営に参画してください。



2017年8月21日  
小西化学工業株式会社  
代表取締役社長小西弘矩

### ■ 健康教室

2019年12月、和歌山産業保健総合センター主催の『禁煙セミナー』にて、喫煙の健康被害と禁煙について受講しました。



### ■ 禁煙キャンペーン

健康経営活動として第4回禁煙キャンペーンを実施しました。喫煙者が禁煙外来で治療を完了した場合、自費負担分を補助しています。これまでに10名以上が禁煙に成功しました。

## 緊急訓練

8月と12月の2回、全社で緊急訓練を行っています。2019年度は初めての試みとして事業継続計画（BCP）の実行性を確保することを目的に「BCP訓練」を実施しました。



緊急訓練



BCP訓練



## コロナ対策関連の取り組み

2020年新型コロナウイルスの感染が急速に拡大している事態を受けて小西化学では新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて様々な取り組み活動を実施しています。

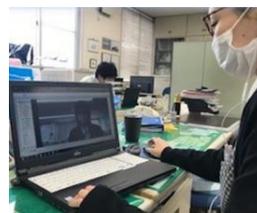
### ■ 感染防止対策

来社される方々への感染防止対策のお願いとマスク着用の徹底、消毒の実施を行っています。



### ■ 3密防止対策

3密防止対策として座席の分散、リモート会議の推進、テレワークの実施を行い密にならないように工夫しています。



リモート・テレワーク業務の様子

### ■ キラリ！ KONISHI新型コロナウイルス感染防止活動宣言



各部・プラントで取り組んでいる感染防止活動を活動ポスターで紹介しました。全員参加型活動としてさらに感染防止活動に取り組んでいきます。

## SDGsの取り組み

2018年度に続き、小西化学では“キラリ! KONISHI SDGs宣言”の下、環境委員会を中心に、全社を挙げて積極的にSDGs活動を推進しています。

### SDGsとは？

国際社会が取り組むべき社会的課題として、2015年9月に「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



### ■ 本社工場サステナブルツリー更新

2018年度のサステナブルツリーに引き続き、2019年度はサステナブルツリーのデザインを一新し、福井工場との統一感を図りました。また、宣言を記入したサステナブルカードも新しく作成、この活動を通して、改めて社員全員が日常におけるSDGs活動を意識づける機会となりました。



本社工場サステナブルツリー



福井工場サステナブルツリー

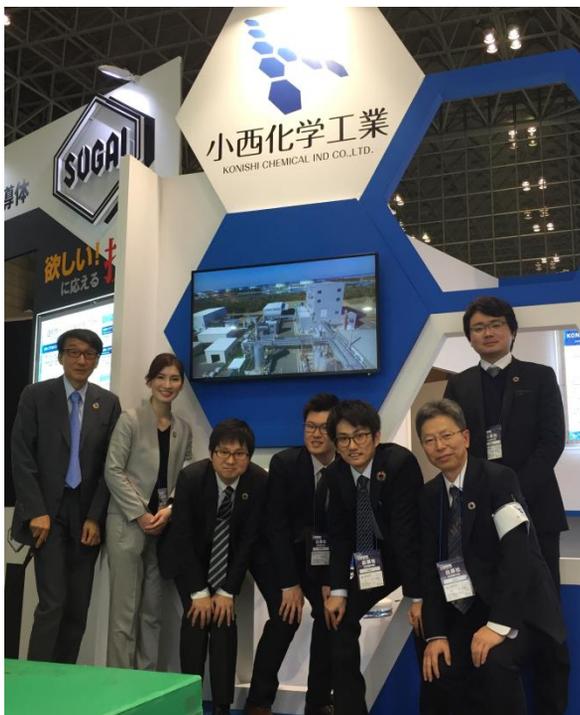
## ■ SDGsに繋がる同盟への積極的な加入

小西化学ではSDGsに繋がる同盟に積極的に参加しています。2019年度には、女性活躍企業同盟とわかやま結婚・子育て応援企業同盟に加入しました。将来的には、厚生労働省公認のえるぼし認定やくるみん認定の取得にも挑戦していきたいと考えます。



## ■ 高機能プラスチック展への参加(SDGs貢献商品の研究開発・宣伝活動)

小西化学ではSDGsに貢献できる新製品を研究開発しています。2019年の年末には、これら新製品を宣伝するべく、国内最大規模の高機能素材展へと参加しました。説明員は、全員が胸元にSDGsバッジを着用しており、小西化学のSDGs貢献への熱意も伝えることができたと考えます。



開発製品   S-PES (スルホン化ポリエーテルスルホン)	
用途	関連するSDGs目標
機能性分離膜	
開発製品   PSQ (ポリシルセスキオキサン)	
用途	関連するSDGs目標
LED ハードコート材料	

現在鋭意開発中のSDGs貢献製品としては、S-PESとPSQが挙げられます。S-PESは、水処理膜や再生エネルギー用蓄電池の電解質膜への応用が期待されており、PSQはLEDやハードコート材料として産業と技術革新の基盤づくりに貢献できる可能性があります。

## ■ 廃棄パレットのリサイクル

これまで廃棄処分としていた破損パレットについて、「中古パレット」として他ユーザーへの供給（リユース）と、「プラスチックチップ」として再生利用（リサイクル）を促進しています。

資源の有効活用、循環型社会構築への貢献という観点で今後も改善活動を進めていきたいと考えます。



破損パレット



**リユース**  
(軽量物積載用)

**リサイクル**

## ■ 電気自動車充電設備

電気自動車用充電設備を設置し、社用車トヨタ・プリウスPHVの充電に活用しています。

電気走行距離は20km程度なので遠距離に使用する場合はガソリンとの併用となりますが、近距離は電気走行のみで対応も出来るようになり、CO2排出低減に貢献しています。



当社社用車 トヨタ・プリウスPHV



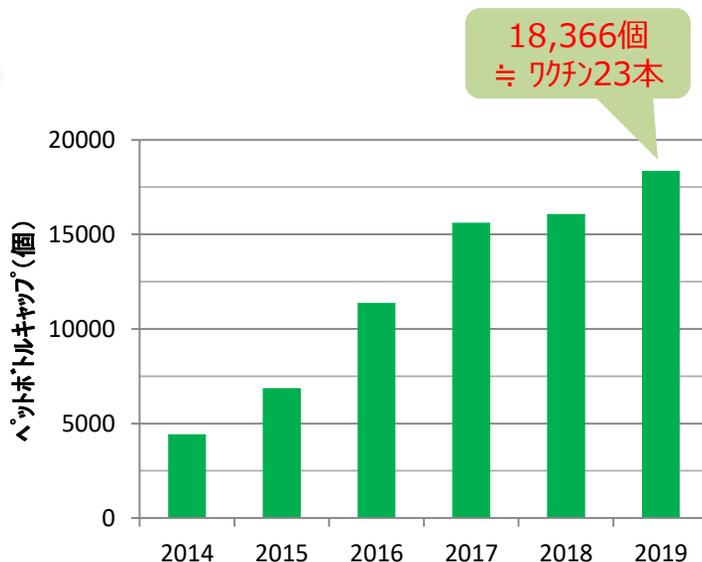
充電設備

## ■ エコキャップ運動



2013年からペットボトルのキャップを回収し、リサイクル業者に売却した費用で発展途上国にワクチンを寄贈するというエコキャップ運動に参加しています。

2019年度は18,366個のキャップを回収し、約23本のポリオ（小児まひ）ワクチン寄付に貢献しています。



## ■ 社員の家族との交流

福井工場では、社員の家族の工場見学会、レクリエーション行事へ招待し、職場の雰囲気を感じて頂きました。



焼き芋パーティ



フリスビーレク

## ■ 地域支援活動

和歌山港祭り、三国花火大会、缶サット甲子園和歌山大会等様々なイベントに協賛し地域社会の活動応援に取り組んでいます。



和歌山 港祭り



三国花火大会



缶サット甲子園和歌山大会

## ■ 環境パトロールと事業所周辺清掃

地域貢献活動の一環として、本社工場では毎朝事業所周辺の清掃を行っています。また、事業所周辺の臭気や騒音などの異常が無いのか、昼夜2回のパトロールを実施しています。



環境パトロール



清掃活動

小西化学のインターンシップでは、研究部若手社員の指導の下、ラボ実験、分析、データ整理、レポート作成など、1週間程度で実際の研究開発業務を体験していただきます。全国から多数の応募をいただき、2019年度は11名の学生を受け入れました。



実験の様子



実験結果の解析

### 参加者の感想

- 実際の工業スケールに驚きました。また、実験では一から丁寧に教えていただきました。（大学院修士1年）
- 研究部以外の他部署の話も聞けてよかったです。今後の研究や就職活動に向けてモチベーションを得ることができました。（大学院修士1年）
- 実験を行う際の危機管理意識や業務の効率向上のための工夫などが実感できました。（大学院修士1年）
- 実験結果から原因や改善策を模索する姿勢を見て、研究の対する考えを見つめ直すきっかけとなりました。（高専4年）
- 社員の方々の距離が近く風通しが良いアットホームな職場だと感じました。（大学院修士1年）

### 先輩社員のメッセージ

インターンシップに来て頂いた学生さんたちには小西化学の研究部の風景を見学・体験して頂きました。プラントの見学や小西化学での実験前の安全対策、有機合成など様々な経験だったかと思います。また、研究部だけでなく他部署の社員との交流も体験して頂きました。これらの経験が彼らの研究生活・進路に役立っていてほしいと思います。

